



東地方農林水産事務所普及指導室

〒030-0801 青森市新町二丁目4-30 (Tel 017-734-9965、fax 734-8305)

電子メール hi-nosui@pref.aomori.lg.jp



上：上小国営農組合設立総会（平成19年3月）
右：左堰営農組合の加入申請の様子（昨年11月）

平成19年産「品目横断的経営安定対策」の加入申請は7月2日まで

本年4月2日から、水稲と大豆を対象とした、品目横断的経営安定対策の加入申請が始まりました。

この制度は、17年10月に決定された、国の経営所得安定対策等大綱の3本柱のうちの一つで、水稲、小麦、大豆を対象とした、収入の減少を補てんする対策（通称ナラシ対策）と、小麦、大豆を対象とした、輸入格差を補正する対策（通称ゲタ対策）からなります。

加入要件は、原則として、4ha以上の認定農業者、または20ha以上の集落営農となっています。

このため、普及指導室では、市町村、JA等関係機関と連携して、認定農業者の確保と集落営農組織の育成を図ってきました。

その結果、東青管内では、3月末時点で認定農業者が372人、集落営農組織が10地区で結成されました。

既に管内では、19年産小麦について、昨年11月に、1戸の認定農業者と、2つの集落営農組織が加入しています。これから対策の加入を希望する場合は、青森農政事務所へ7月2日までに、水稲と大豆を対象としたナラシ及びゲタ対策の加入申請と、小麦と大豆を対象としたゲタ対策の期間内生産量登録を行う必要があります。

普及指導室では、本年度も引き続き、農業経営改善計画の策定支援や、集落営農組織の設立及び運営に関する指導を行ってまいりますので、制度の内容や手続等については、お気軽にご相談ください。

— 平成19年度の重点活動事項について —

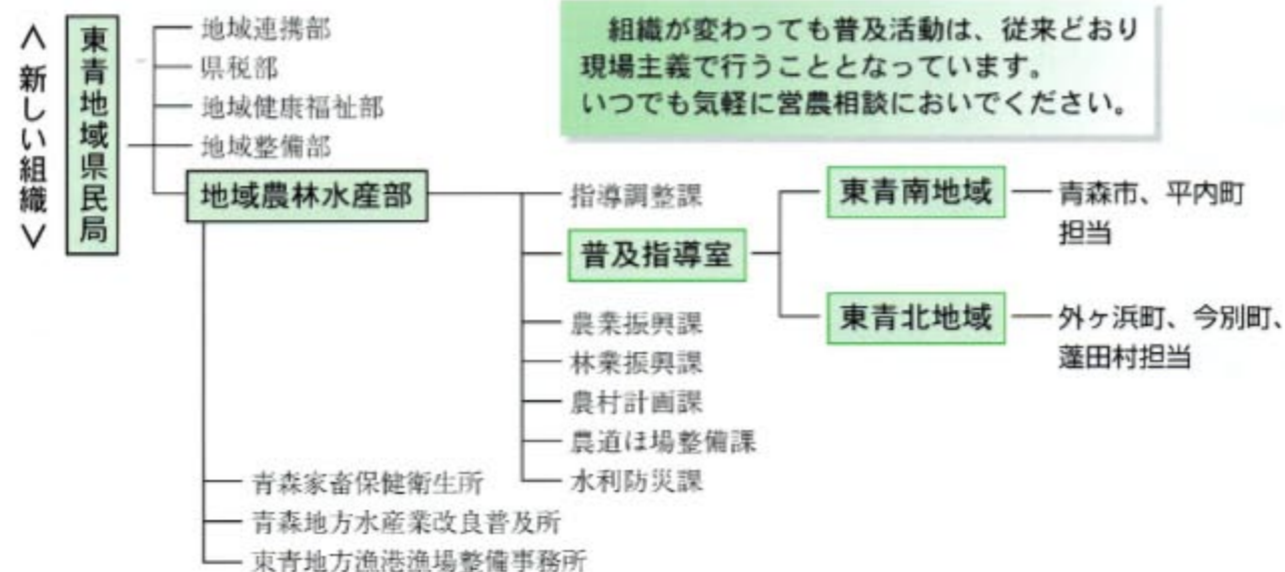
農業・農村を取り巻く環境は、農産物の輸入増加や担い手不足、耕作放棄地の増加など依然として厳しい状況が続いています。このような中で、国は担い手を認定農業者や集落営農組織を対象を絞り、経営全体に着目した対策に転換するなど、農政は大きな局面を迎えております。

このような状況の中で、本県の重要施策である販売を重視した「攻めの農林水産業」を推進するため、平成19年度の普及活動は、下記事項について関係機関等と密接な連携を図りながら、重点的に指導することとしています。

- 1 品目横断的経営安定対策に対応できる認定農業者や集落営農組織など担い手の育成・確保
- 2 立地条件の優位性を活かし、人財を活用した安全・安心な農産物や加工品づくり
 - ① そばの良品安定生産と地元そば店等への販売拡大による青森「そばの里」づくり
 - ② 「道の駅」などでの安全・安心な農産物や加工品の販売拡大
 - ③ 消費者ニーズに対応した安全・安心な農産物の生産とエコファーマーの認定拡大
 - ④ 「日本一健康な土づくり農業実践事業」等の活用による、環境に優しい農業の推進と、健康な土づくりによる高品質で、ミネラルの多いおいしい農産物の生産
- 3 売れる農産物の生産拡大と新規部門の開発などによる地域農業の振興
 - ① クリーンライスなどの普及と新品種「まっしぐら」の安定生産による売れる米づくりの推進
 - ② トマトなど主要野菜と花きの安定良品生産による販売額の拡大
 - ③ 小麦や大豆の転作本作化による水田農業の確立
- 4 地域農業の活性化を進める人財の育成
 - ① 新規就農者の確保と4Hクラブ活動の活性化による若手農業者の育成
 - ② ViC・ウーマン等地域における女性リーダーの活動能力の向上
 - ③ 食農活動による生活改善グループ活動の活性化

東地方農林水産事務所が 「東青地域県民局地域農林水産部」に変わりました

県の組織改正に伴い、平成19年4月からは、総合的な出先機関として東青地域県民局地域農林水産部普及指導室に変わりました。



普及指導室の職員を紹介します

とうせいみなみ
東青南地域担当



New! 副室長(総括主幹)
梅村 幸一



New! 室長
金枝 敬一

とうせいきた
東青北地域担当



New! 副室長(総括主幹)
長内 達也



主幹
菊池 秀夫
【畜産・機械】



主幹
長村 芳枝
【集落営農・花き】



New! 主幹
鎌田 龍司
【新規就農・果樹】



主査
長内 明人
【経営・資金】



主査
工藤 マサ子
【女性起業】



主査
斉藤 仁志
【水稲・畑作】



主査
蝦名 照仁
【野菜・畑作】



主査
加藤 直子
【花き・畑作】



主査
小笠原 宜弘
【果樹・気象】



主査
若宮 通子
【畑作・野菜】



技師
白取 愛
【男女共同参画】



New! 技師
鈴木 宣建
【果樹】



New! 技師
稗貫 雪音
【土壌・情報】

室長以下6名の新任者を加えた16名の職員で、関係機関、団体と連携し、信頼され・役に立つ普及指導員として活動を展開して参りますので、よろしくお願いいたします。

農作業事故に注意しましょう (4月15日~5月31日は春の農作業安全運動期間です)

農山火事を防止しましょう!

山火事の発生原因の約67%はタバコの投げ捨て、たき火、火入れなどの不始末です。

地域農業を担う新しいリーダー 新青年農業士、新VIC・ウーマンを紹介します！

去る2月、東青管内では、3名の青年農業士、5名のVIC・ウーマンが認定を受けました。これから一層の活躍が期待されています。

いづか ひとし
*飯塚 仁さん (青森市高田)



水稲、稲ワラ収集・販売、トマト
農業経営士の父と部門分担し、水稲の低コスト省力化栽培、稲わら収集・販売（平成18年は120ha）を実施しています。

あすま ゆうだい
*東 裕大さん (青森市後潟)



水稲、小麦、トマト
水稲と小麦、稲わらロールの収集・販売のほか、エコファーマーの認定を受け、トマトの減農薬・減化学肥料栽培に取り組んでいます。

くどうよしひさ
*工藤良和さん (青森市浪岡)



りんご、水稲
りんごの効率的なわい化栽培が目標で、「青森市農業後継者の会」副会長として活動しています。

さこうゆきこ
*佐藤幸子さん (青森市筒井)



J A新あおもり女性部南支店副部長。農業経営に部門分担制を取り入れ、経営方針決定や改善計画作成等に参画しています。

やすなやえこ
*安田八重子さん (青森市浪岡)



浪岡農協女性部（レディース部会）の部長等を務め、特に伝統料理等を若い人達に伝え残す活動を展開しています。

いしだ
*石田ふさ子さん (外ヶ浜町蟹田)



地域の若い女性のリーダーとして、暮らしやすい環境づくりをリードしています。また環境に優しい農業の確立を目指しています。

くどう
*工藤るみさん (外ヶ浜町蟹田)



営農や農村生活に関する知識・技術を生かし農産加工・販売部門を拡大。常に攻めの姿勢で、魅力ある農業経営や農村生活の実現に向けて活動しています。

こさき
*笹木まり子さん (外ヶ浜町蟹田)



他産業に従事したことで、農業・農村生活の魅力を再発見し、施設野菜の導入など、新たな農業経営に挑戦しています。また、美しい地域づくりの推進役となっています。